

COVID-19流行状況に応じてHMC COVID-19アラートを発動し、アラートに応じたトリアージ・一般診療・COVID-19診療体制をとる。

アラート	状況	一般診療体制	COVID-19診療体制
グリーン	<div><input type="checkbox"/> 全国で感染者の増加傾向が見られていない （海外では流行が見られている場合もある）</div>	対象者へのスクリーニングフォームを用いた問診、感染リスクの高い患者への対応やリスクの高い診療行為を行う場合に、追加スクリーニング検査を実施することで通常診療を行う。	札幌市とも協議し、必要最小限の対応病床数を確保、運営する。
イエロー	<div><input type="checkbox"/> 国内で感染者の増加傾向がある。 （札幌と人的交流が多い地域でアラート（自治体独自、もしくは緊急事態宣言）が発出されている） （例：東京、大阪、福岡など）</div>	海外渡航歴、国内流行地(※)の居住歴、滞在（旅行）歴を入念に確認し、感染者の紛れ込みの危険性が高まることを考慮しスクリーニングを強化する。	対応病床数の拡大準備を行う。
レッド	<div><input type="checkbox"/> 北海道（札幌）でアラートが発出される <input type="checkbox"/> 全国に緊急事態宣言が発出される</div>	外来縮小（患者紹介受け入れの停止） 不要不急の検査の中止・延期	札幌市と協議した病床数の確保と看護体制を含めた診療体制の拡充を行う。

※ 流行地（緊急事態宣言発令地域、患者発生数の増加傾向の都道府県・道内市町村）は、感染対策室より適宜更新・発信する。